

市民会館おおみや新施設緞帳制作等業務 ホールのデザインコンセプト

1. 市民に愛されるホール:市民ユースを想定したベーシックな仕上げ

市民の文化芸術の発信の場として、市民利用が中心となる公共ホールとするために、華美な材料とせず、ベーシックな仕上げ材としています。

非日常を演出するためのフォーマルな床下照明や木々をイメージしたリブを使い、他にはないオンリーワンのホールを目指しています。

2. 「氷川参道の木立を内部に取り込んだ木の温もりを感じさせる空間」

氷川参道の木立をイメージした、木に包まれた温かい雰囲気の内インテリアデザインとしています。

音の反射を考慮して角度をつけた反射壁を細かくリズムカルに並べることで、木々が立ち並ぶ景色を表現しています。

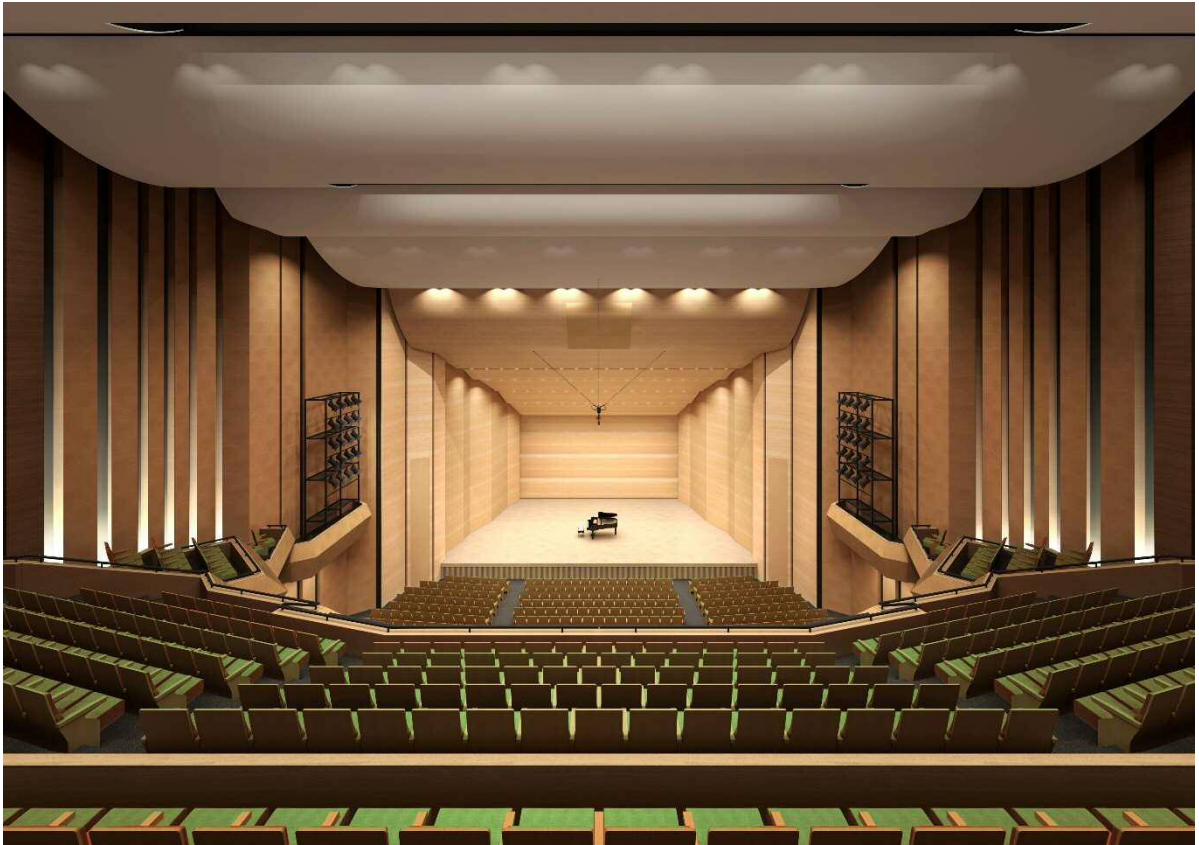
木の壁柱が林立するホール内観イメージ。重厚感のある木に包まれた、温もりと落ち着きのある空間としています。



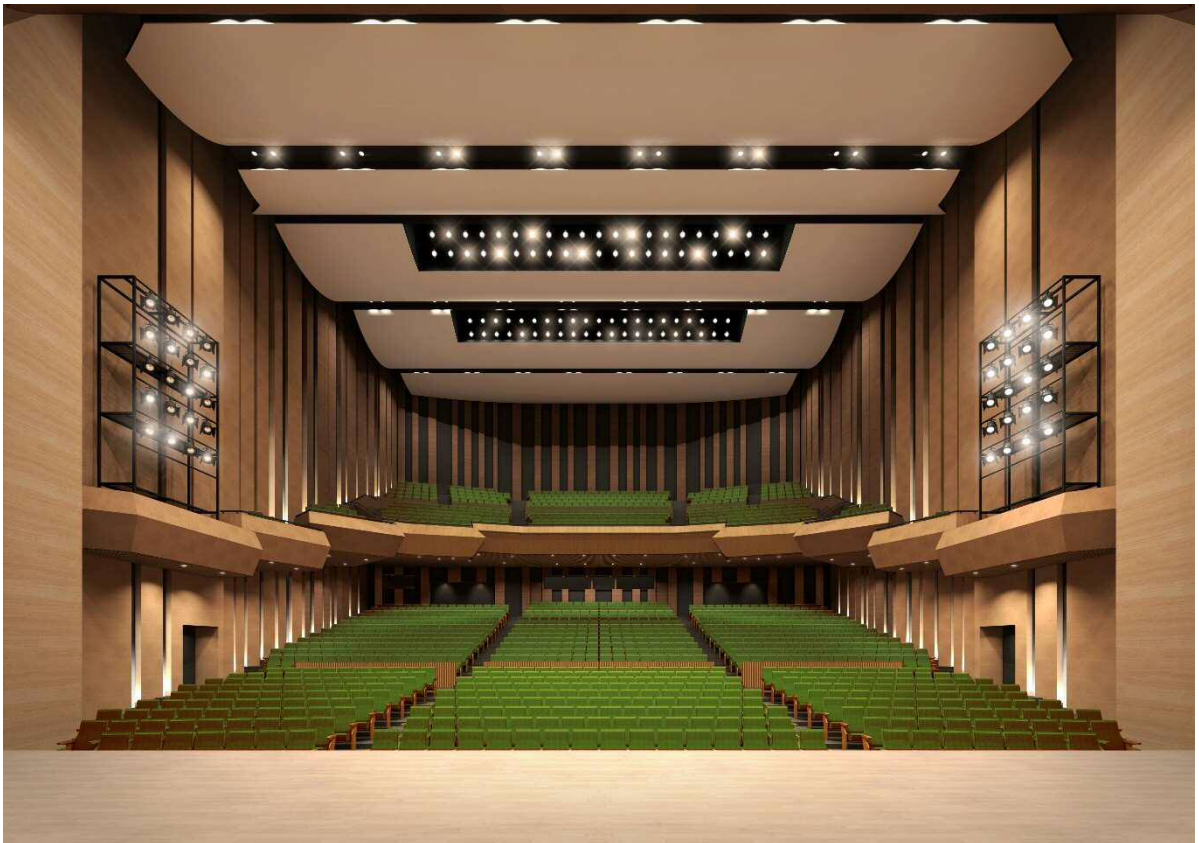
氷川参道イメージ



木立のイメージ



①【大ホール】内観パースイメージ(客席から舞台を望む)



②【大ホール】内観パースイメージ(舞台から客席を望む)